

美浜発電所の状況について

美浜1号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜2号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜3号機	第29回定期検査中(令和8年6月16日～)

使用済燃料乾式貯蔵施設 設置計画に了解しました

8月28日、町は、関西電力(株)から事前了解願いのあった美浜発電所の使用済燃料乾式貯蔵施設の設置計画(設置計画)について了解しました。この計画は、使用済燃料を中間貯蔵施設へ、より円滑に搬出するとともに、搬出までの間、電源を使用せず安全性の高い方式で保管できるように、美浜発電所の構内に使用済燃料乾式貯蔵施設(貯蔵施設)を設置するものです。

今月号では、設置計画の事前了解に至るこれまでの経緯等の概要をお知らせします。

事前了解願い提出から国による 原子炉設置変更許可までの経緯

町は、関西電力(株)から、使用済燃料対策ロードマップ(ロードマップ)(※)の中で検討を進めるとされた貯蔵施設について、令和6年2月に「原子力発電所周辺環境の安全確保等に関する協定書」第3条第2項に基づき、設置計画に係る事前了解願いの提出を受けました。

これを受け、町は同年3月、関西電力(株)が町民の安全性に対するより深い浸透を図るための継続的な理解活動や、町民目線の地域振興に真摯に取り組むこと、ロードマップを着

実に履行すること等を前提に、関西電力(株)が国へ原子炉設置変更許可申請(許可申請)を行うことを了承しました。

その後、関西電力(株)は同年7月に国に対して許可申請を行い、国は貯蔵施設や輸送・貯蔵兼用キャスク(キャスク)について厳格に審査を行い、令和7年10月に原子炉設置変更を許可しました。

※関西電力(株)は、使用済燃料対策ロードマップを令和5年10月に策定し、使用済燃料の県外搬出を着実に実施することとしています。

事前了解に係る町議会や 町民の意向等の確認

町は、設置計画の提出を受けてから「安全安心の最大限の確保」「住民の理解と協力、信頼関係」「地域振興」等の観点から町議会や町民の意向等を確認してきました。8月17日には、第229回美浜町原子力環境安全監視委員会(臨時会)を開催し、貯蔵施設の設置について協議を行いました。主な意見は次のとおりです。

意見①

地元住民からすると、安全性の面からキャスクの信頼性を評価し、貯蔵施設を設置していくべきだと考える。立地地域の安全・安心を優先させるという考え方であれば、ロードマップで掲げる六ヶ所再処理工場の竣

工目標とリンクさせるのではなく、使用済燃料をプールから貯蔵施設に移して保管する方が望ましい。

意見②

キャスクは、国の審査を受けているため、安全性について申し上げることはないが、貯蔵された使用済燃料を本心に計画通りに搬出できるのかという点が心配である。プラントの安全性はもとよりロードマップを確実に実行していくことが地域住民にとっての信頼や安心につながると考えており、実効性を高めていただきたい。

意見③

貯蔵施設は、国から設置許可を得ており、使用済燃料を電源を使用しない安全性の高い方式で保管できるものと承知しており、安全性の確保を大前提に、貯蔵施設の稼働までに相応の建設リードタイムを要することを踏まえれば、早期に了解の結論を出すべきだと思っている。

こうした取り組みにより、美浜発電所3号機が今後も安定的に運転されることで、ひいては国のエネルギー政策に資するものとして、電力の安定供給、エネルギー安全保障等においても重要な役割を果たすものと考えており、速やかに設置すべきだと思っている。

◎これまでに町が確認した事項

①安全安心の最大限の確保

貯蔵施設やキャスクについて、原子力規制委員会より設置変更許可を得ており、安全性には合理性がある。

加えて、湿式と比べて、電源を使用せず、より安全に保管できる貯蔵方式と判断する。

②住民理解と協力、信頼関係

関西電力(株)による広報・理解活動の継続により、安全性や必要性に対する住民理解が総じて進んでいると理解する。

また、関西電力(株)による町議会や町原子力環境安全監視委員会での説明に際し、長期滞留を懸念する声はあったものの、安全な貯蔵方式であり、滞りなく進める必要があるとの総意を得ている。

③地域振興

立地地域の将来像の実現にかかる拠出金制度の創設や、町の要請事項に対する取り組み実績から、一定の評価ができると判断する。

これらのことを総合的に判断し、8月18日に戸嶋町長は、町議会の竹仲議長、藤田副議長と面談し、次の事項が進められることを前提として、設置計画に了解する意向を伝えました。

◎事前了解の前提

◆美浜発電所3号機の蒸気漏れ事態の教訓と反省に基づき、固定概念にとらわれない安全最優先の運用管理と、地域住民の「安心」の確保に尽力すること

◆地域振興について、引き続き誠意をもって、不断の取り組みを進めること

◆使用済燃料の計画的な搬出が担保されるロードマップを着実に履行すること



↑戸嶋町長(左奥)と竹仲議長(右奥)、藤田副議長(右手前)の面談

また、8月20日には、戸嶋町長は、高浜町長、おおい町長とともに県の武部副知事と面談し、前述の事項が進められることを前提として、設置計画に了解する意向を伝えました。

設置計画の了解

8月28日に、戸嶋町長は関西電力(株)の鶴一隆美浜発電所長と面談し、設置計画について、これを了解することを伝達しました。

町としては今後も、発電所の安全最優先の運営管理と地域振興について不断の取り組みを進めるよう求めるとともに、今後のロードマップの進捗を確認していきます。

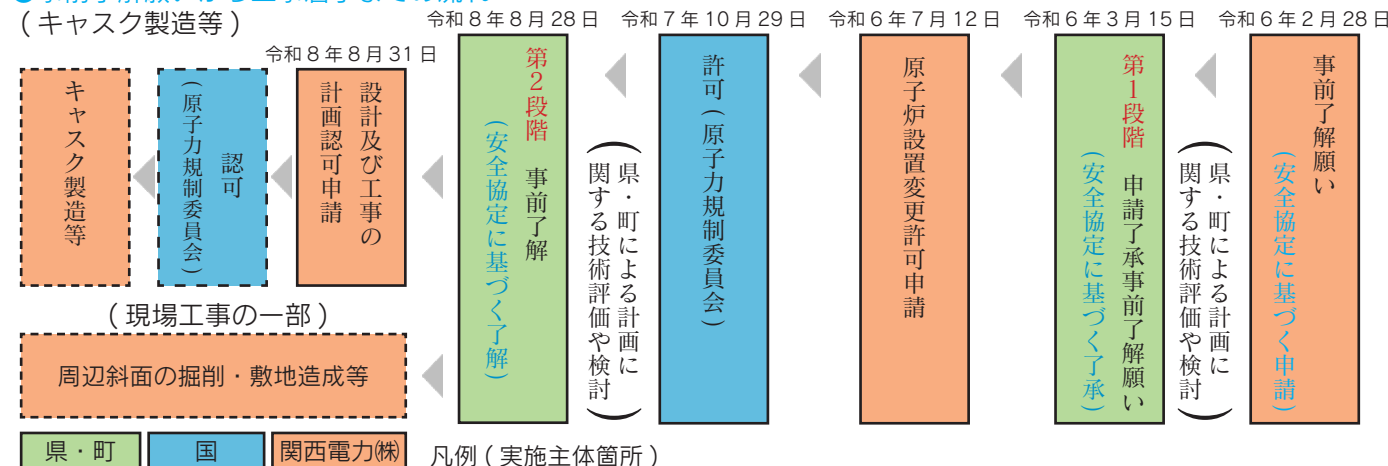


↑戸嶋町長(右奥)、山田副町長(左奥)と鶴一隆美浜発電所長(手前)の面談



↑武部副知事(右)と面談する戸嶋町長(左手前)

●事前了解願いから工事着手までの流れ (キャスク製造等)



凡例(実施主体箇所)

※実線=完了、破線=今後の予定

予防接種についてのお知らせ

予防接種は、体内に十分な抵抗力(免疫)がつくまでに約2週間かかり、その後継続期間は5カ月といわれています。そのため、流行前の早めのワクチン接種が有効です。

新型コロナウイルス感染症予防接種

●対象者

- ・65歳以上の方
- ・60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器、免疫機能に障害(身体障害者手帳1級相当)を有する方

※助成対象者には、個別に接種券と予診票を送付します。

●自己負担額 7,600円(生活保護世帯の方は無料)

●接種回数 1回

●助成対象期間

令和8年10月1日(木)～令和9年1月30日(土)

●接種方法

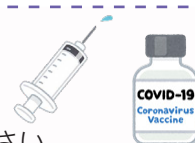
医療機関で個別に接種してください。
(接種券が使える医療機関は、接種券と予診票の同封書類に記載していますが、その他の医療機関での接種を希望する場合は、町健康福祉課へご相談ください。)

●その他

▶接種当日は、接種券と予診票の同封書類に記載されている持ち物を持参の上、受診してください。

※お問い合わせ先

町健康福祉課 ☎32-6704



インフルエンザ予防接種

子ども

●対象者

町内在住で、平成20年4月2日から令和8年7月31日までに生まれ、接種日に満6カ月以上となるお子さん

●助成内容

1人1回の接種につき1,000円を助成(2回まで)

●接種回数

満6カ月から13歳未満⇒2回まで
13歳以上⇒1回(医師が特に必要と認める場合は除く)

●助成対象期間

令和8年10月1日(木)から
令和9年1月31日(日)

●その他

▶医療機関で予防接種を受け、町子ども未来課に申請・請求を行ってください。

※様式は町子ども未来課窓口や町ホームページにあります。

※接種した医療機関の領収証、母子手帳を持参してください。

▶請求期限は令和9年2月26日(金)までです。

※お問い合わせ先

町子ども未来課 ☎32-6713



高齢者

●対象者

町内在住で、昭和36年12月31日までに生まれ、接種日に満65歳以上となる方

※助成対象者には、個別に接種券と予診票を送付します。

●自己負担額 1,900円(生活保護世帯の方は無料)

●接種回数 1回

●助成対象期間

令和8年10月1日(木)から
令和9年1月30日(土)

●その他

▶接種券が使える医療機関は、これから送付する接種券と予診票の同封書類に記載していますが、その他の医療機関での接種希望の場合は、町健康福祉課へご相談ください。

▶接種当日は、接種券と予診票の同封書類に記載されている持ち物を持参の上、受診してください。

※お問い合わせ先

町健康福祉課 ☎32-6704



ハートフルウォーク 2026 ～久々子8つのパワースポット巡り～

今年もハートフルウォークを開催します！久々子区を歩き、8つのパワースポットを巡るコースです。

ウォーキングを楽しみながら、久々子の魅力を再発見しませんか？

■日 時 令和8年11月14日(土) 午前9時～(受付：午前8時30分～)

※少雨決行・荒天中止

■発着点 美浜町総合運動公園 にじいろパーク

■対象 町内の方(町外の方はご相談ください)

※小学生・未就学児は保護者同伴

■申込締切 11月6日(金)まで

■申込先 町健康福祉課 ☎32-6704

南西郷公民館 ☎32-2654



↑ 前回のハートフルウォークの様子

※10月初旬に新聞折込予定です。詳細はそちらをご覧ください。

あいあいポイント対象事業！

参加者には50ポイントプレゼントします



さらに！参加された方には
久々子湖交流stationにて
ドリンク1杯プレゼント！



主催：町健康福祉課 南西郷公民館

協力：南地区スポーツ協会 久々子区

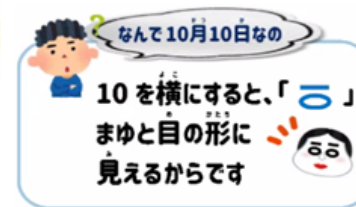
10月10日は目の愛護デーです



目の使いすぎは、視力の低下・肩こり・吐き気

等体にさまざまな不調を招きます。

日頃から自分の目をいたわることが大切です。



パソコン・スマートフォンは
時間を決めて使いましょう



勉強や仕事は正しい姿勢で
明るい部屋で行いましょう



毎日しっかりと睡眠を取り
目を休めましょう



※お問い合わせ先 町健康福祉課 ☎32-6704

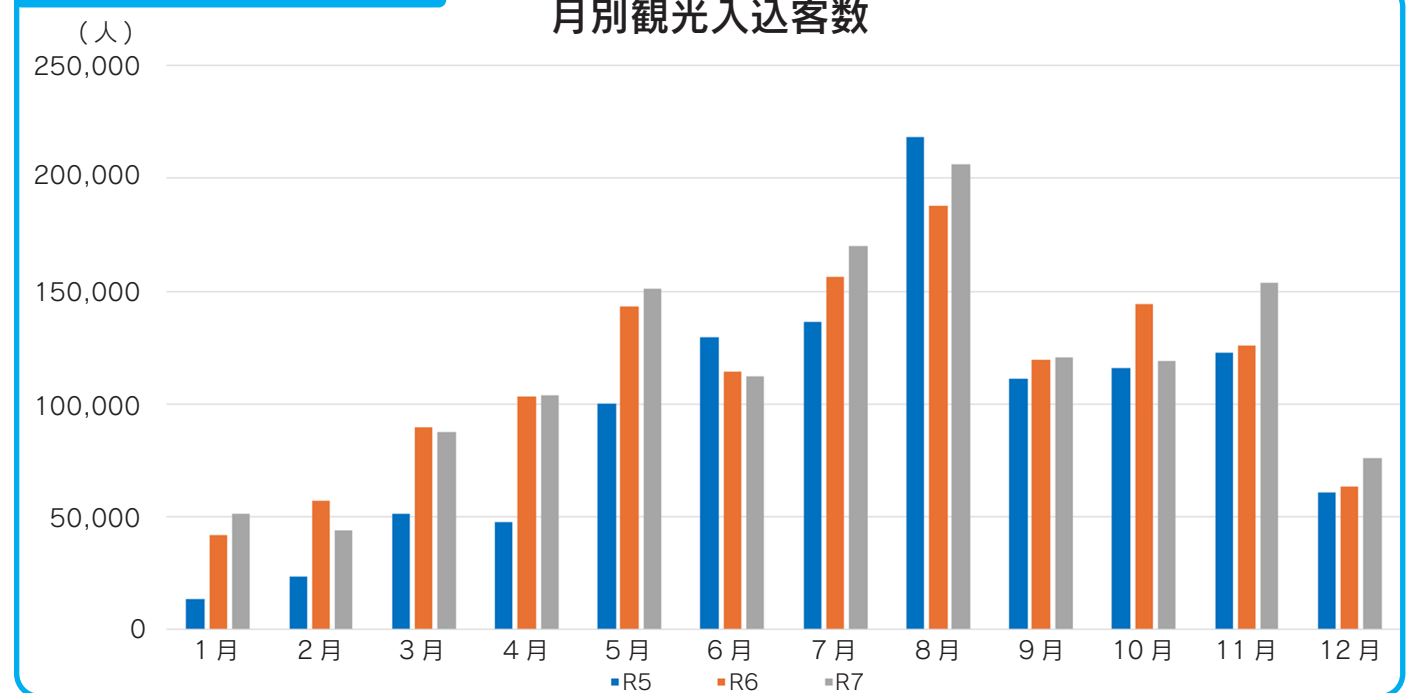
観光シリーズ Vol.6 第二次美浜町観光振興計画
スローガン：いってみたいから、ずっといたいへ。

美浜の観光が抱える課題④

かたよ
観光入込客数の偏り

町を訪れる観光客を月別にみると、夏の海水浴シーズンに集中していることが分かります。
一方で、9月に入ると入込数は大きく落ち込み、冬から春先にかけては、低い水準で推移しています。

観光入込客数及び宿泊者数



出典：美浜町「観光入込客数調査」

データから見る美浜の観光課題

季節を問わず、観光の目的地にしてもらえる町へ！

※夏季以外の観光（需要）入込数が少ない傾向にあります。

観光需要の平準化を図る
（偏りをなくす）

観光入込客数全体の底上げと、春・秋・冬の
観光客増を目指します

課題解決に向けた取り組み

① 通年の町の魅力整理・
再発見・磨き上げ

② 体験商品の造成

③ 教育旅行・インバウンド等
平日・閑散期対策



町ブランド
ホームページ



町ホームページ
第二次美浜町観光
振興計画掲載記事

※お問い合わせ先 町観光誘客課 ☎32-6705

ふるさと昔話
よもやま話
(173)

北前船が広めた「昆布」
と美浜の文化

江戸時代から明治時代にかけて、北前船によって全国各地の特産品が運ばれていました。この積荷を寄港地で売り買いすることで、大きな利益を生み出したので、北前船は「動く総合商社」とも言われます。北前船により、種桐油（ころび油）等、美浜の特産品が全国に広まり、美浜にも各地の特産品がもたらされました。今月号ではその代表例として、「昆布」についてご紹介します。

現在の日本食には欠かせない昆布ですが、若狭湾を含めた本州の沿岸部には、東北地方の一部を除き、天然の昆布は自生しておらず、古代から貴重な食材とされてきました。一大生産地である北海道蝦夷地との交易が盛んとなり、北前

船の積荷として昆布の流通量が増えたことで、全国的に身近な食材となっていました。美浜でも次第に日常的な食材として広まったと考えられます。そして昆布は、祭礼の日に振舞われる料理や神仏へのお供えに使われています。

例えば、早瀬等の海沿いの集落では、祭りの日に「サバズシ」が作られていました。これは3枚に下した鯖を甘酢に漬け、昆布を敷いた上から押したシメサバをご飯の上に載せた料理です。

また宮代では、神事の際に、昆布を含む五種の具材と焼き豆腐を炊いた料理「平」が供されていました。祝いの品として、「昆布」が贈られる事もありました。戦前の久々子では、親戚からの出産祝いはお米でしたが、このお米は「ツツミ」に入れられ、必ず長さ15cm程の紐状の昆布が添えられていました。

竹波では出産祝い（お餅）の返礼品として、赤飯と昆布巻きを配りました。現代でも「よるこんぶ」と縁起物として重宝されている昆布ですが、このように食だけでなく人々の生活に密着してきました。

貴重だった昆布が北前船によって身近になったことが、美浜の文化



↑日吉神社秋季祭礼でお供えされる昆布（金山 平成17年）

（町歴史文化館）

や暮らしに少なからず影響を与えたのではないのでしょうか。

北前船の歴史というところ、「板子一枚下は地獄」と言われるような命がけの航海に挑み、「攫千金を夢見た船主や船乗りの生き様に「ロマン」を感じる人も多いでしょう。

しかし北前船の魅力は、それだけではありません。昆布のようにそれまで手に入らなかった物産品を各地へ届けることで、遠く離れた寄港地から人や物、そして文化をつないだこともまた、北前船が持つ歴史的な「ロマン」と言えるのではないのでしょうか。

文芸欄

短歌

美浜町短歌協会

我が村に猿現ると知らせあり

厳重注意と区長の放送

松下 幸子（久々子）

みどり児は母のみ胸に眠りぬる

大地震ありし病室のなか

川崎 和美（久々子）

エルニーニョ十月までも活動と

気象予報をウンザリと聞く

三宅 宏（大藪）

夏休み嫁ぎし女孫の里帰り

歩き始めの男の子を連れて

高木 勝美（新庄）

六月の頼りなさげのお日様と

山の向こうの暗き群雲

田波 耕（竹波）

慶弔

8/1～8/31受付分
(敬称略)

◎ご誕生

氏 名	性別	父・母	住 所
河 本 華 奈	女	猛・知佳	久々子
国 川 想	女	直人・百花	河原市

◎ご結婚

氏 名	住 所
松 井 智 也 & (松 本) 夏 穂	佐 田
山 崎 達 弘 & (佐々木) 栞	佐 田
山 田 大 生 & (田 中) 麻 智	佐 田

◎おくやみ

氏 名	住 所	年齢	届出人
牧 野 カズ工	新 庄	91	牧 野 信 久
寺 田 節 子	河原市	95	寺 田 真 一
中 村 益 枝	金 山	91	村 山 美恵子
高 橋 忍	日 向	74	高 橋 旭
田 邊 孝 志	気 山	75	岡 本 啓 子
藤 原 優	新 庄	92	藤 原 達 弥
武 藤 直 子	佐 柿	59	武 藤 翔 也
濱 谷 孫 次	日 向	82	濱 谷 絹 江
嶋 田 美恵子	佐 柿	80	嶋 田 善 久

※氏名に旧字体や俗字等が含まれている場合は、常用漢字で掲載しております。



町公式 LINE の
友だち追加はこちら！



町の情報や応援クルーの
情報はこちら！

7月2日、3日に開催された福井
県中学校夏季総合競技大会卓球
競技女子団体に初優勝した

美浜中学校女子卓球部の皆さん



(後列左から)

大塩 ひかり さん
木村 埜乃 さん
杉本 寧々 さん
石丸 侑那 さん
北村 なお さん

(前列左から)

中川 ももか さん
武田 紗矢 さん
山下 小椋 さん
山口 美羽 さん
中川 心美 さん

* 県大会で優勝したときの感想を教えてください。

(3年生)

私たちはこれまで、県大会優勝を目標に、日々部活動に励んできました。優勝した瞬間は「嬉しい！」の一言に尽きました。また、夏の県大会初優勝という偉業を成し遂げることができたのは、きつい練習を乗り越えた成果だと思います。これから新体制となる後輩たちには秋の新人戦でも優勝を目指して頑張ってもらいたいです。

* 今後の抱負を教えてください。

(1,2年生)

私たちの次の目標は、二州地区大会、県大会、冬季大会すべて優勝することです。今までリードしてくださった先輩たちがいない分、不安な気持ちはありますが、目標を達成できるよう日々の部活動を頑張ります。応援よろしくお願いします！

人口の動き

人口総数	8,406人(－ 13)
男	4,149人(－ 4)
女	4,257人(－ 9)
世帯数	3,545世帯(+ 1)
出生 3人	死亡 12人
転入 17人	転出 21人
みはま応援クルー(※)	420人(+ 1)
令和8年9月1日現在※()は前月比	

※町が公認登録する「町外に住みながらも本町を愛し、応援して下さる方」のこと。

町人 まちびと さん



HAPPY BIRTH DAY



はじめてバースデー



10月に満1歳を迎えるお子様を紹介します。



10.2
武田 菜楓ちゃん(山上)
母 父 健太さん
由佳さん
にに大好き♡
たくさん動いて遊んで、大きくなるぞ



10.15
森下 月乃ちゃん(佐田)
母 父 翔太さん
夏生さん
つきのです！



広報クイズ

広報みはま10月号を読んで、①～④番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」や「ゅ」、「・」、「が」、等も一文字とします。「●」の文字を①番から順に並べると、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①●○○もおとなも夏祭り
- ②●○○お困りごと相談会を開催します
- ③台湾新北市○○●○○ホームステイ
- ④○○●○と健康について

考えてみませんか？

●応募方法

はがきに答え、住所、氏名(広報を読んだ感想も大歓迎!)を書いて、「広報みはま広報クイズ」係(〒919-1192美浜町郷市25-25)まで送ってください。メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。

【メールアドレス】
kouhou-mihama
@town.fukui-mihama.lg.jp
【二次元コード】 右記



締め切りは、10月7日(水)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。

●9月号の答え なつまつり(夏祭り)

●応募者総数は8人で全員正解でした。当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。